

ENIGMA Type-P と Z125 Pro の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

基本的な Z125 Pro の整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従って ECU と配線が作業できるようにシートを取り外してください。

ノーマル車両のシートを取り外すとシート下に ECU がゴムで取り付けられています。

ECU に繋がっている 34 ピンカプラーを外し配線を加工して ENIGMA Type-P を割り込みさせて下さい。

ENIGMA Type-P は近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後 ECU を取り付けてください。

カプラー側の配線に ENIGMA Type-P 配線をインジェクター線及び、O2 センサー線を除き **割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA の動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

PRTF タイプをお使いの方は、ECU に繋がっているカプラーを外し、ENIGMA PRTF から出ているカプラーを ECU と車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的に ENIGMA Type-P から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。

ENIGMA Type-P から接続する配線は全部で 10 本です。

ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。

- ※ ECU の 20 番端子 (青/赤) へ接続されている線を切断して、ENIGMA Type-P からの配線で、バイク車体側に青/緑線を接続、ECU 側に青/白線を接続して下さい。

接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

- ※ 19 番端子は灰線ですが、ENIGMA Type-P の灰/緑線と接続してください。

- ※ 22 番端子は黒線ですが、ENIGMA Type-P の黒/白線と接続してください。

- ※ 26 番端子は灰線ですが、ENIGMA Type-P の灰/赤線と接続してください。

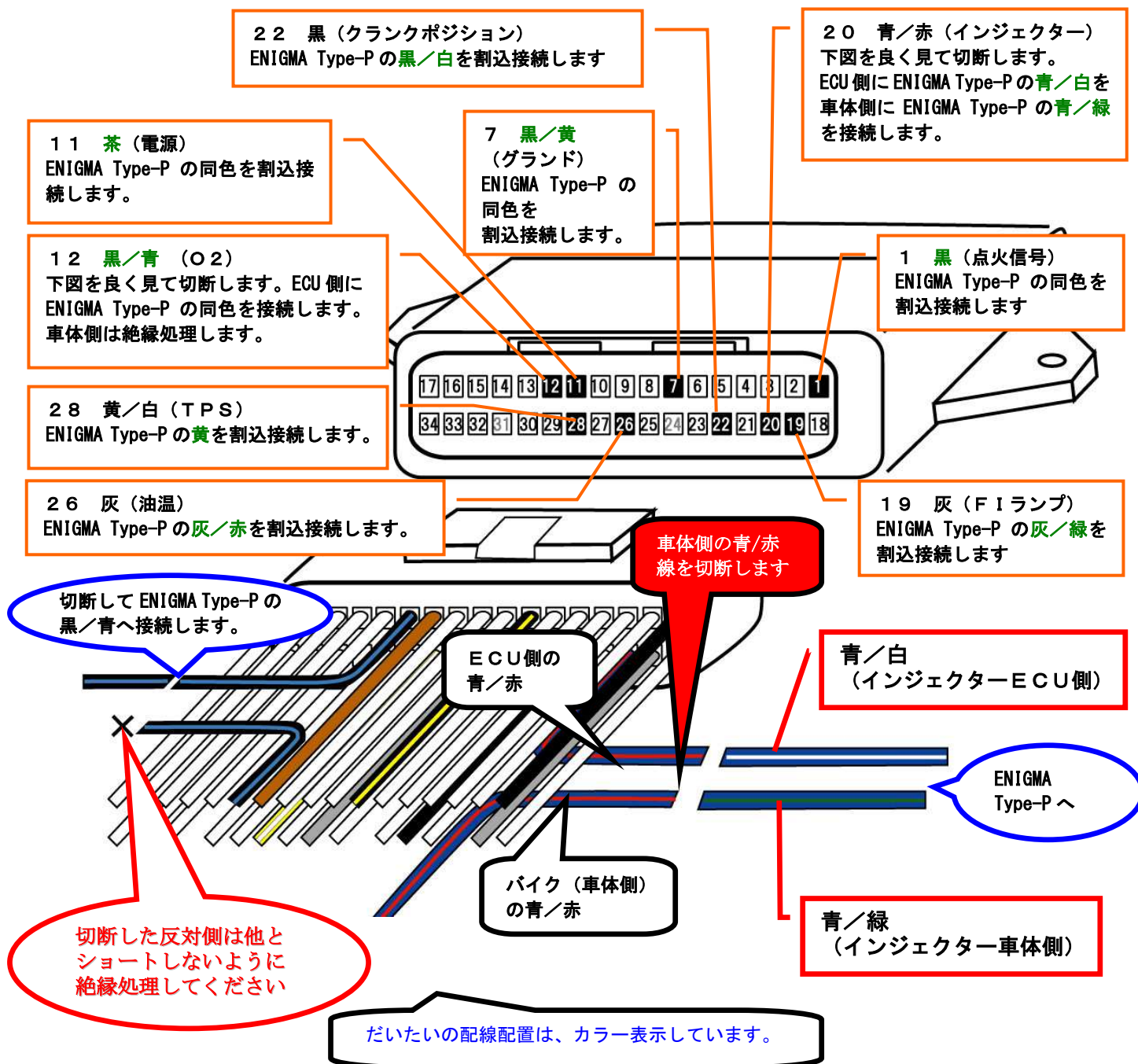
- ※ 28 番端子は黄/白線ですが、ENIGMA Type-P の黄線と接続してください。

- ※ O2 センサーへ接続する ECU の 12 番端子 (黒/青) 線は、切断して ECU 側と ENIGMA Type-P を接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。O2 センサーを取り外す場合、別売のブラインドカプラーセットが必要です。

- ※ **本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

- ※ **配線ミスなどで、ECU にエラーが発生した場合、KAWASAKI の販売店や当社別売の DDCS などエラーを消去する必要があります。**

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、7、11、12、19、20、22、26、28の9箇所です。上図で良くご確認下さい

■ ENIGMA Type-P から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA Type-P はクランク 1 回転に 1 回、5 V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※Z125/Z125 PRO ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。ENIGMA 用は type-P に対応します。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や Z125/Z125 PRO 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード 共接続できません。

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMA から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチ ON の時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されてるお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電 / OFF で遮断する一般的な仕組みの物です

押している時だけ ON になる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったら ENIGMA の白線を繋ぎます。通常はスイッチには 2 つの端子がありますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※ **もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違えてプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。**

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

■ **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**

※ **Z125 はエンジンが停止中は FI ランプはエラーが無くても点灯しています。エンジンが始動すると、通常 FI ランプは消灯します。**

ENIGMA 接続後アクセル全開でイグニッションキー ON すると ENIGMA は通信状態となり、この状態を視覚的に確認するために FI ランプを点滅させますが、エンジンが始動するまでは、FI ランプは点灯したままとなります。この状況でも通信は可能です。エンジンが始動すると、通信状態中は FI ランプが 2 回点滅します。アクセルオフでイグニッションキー ON のときは ENIGMA は通信しない状態となり、エンジンが始動すると FI ランプは通常通り消灯します。この状態でも ENIGMA の燃料調整機能やリミッター機能は働いていますので、セッティングなどを行わないときは、アクセルオフのイグニッションキー ON でお使いください。

※ Z125 用 ENIGMA はリプレイサー機能を持っていますが、アイドリング調整機能がありません。このため ENIGMA 操作用 PC ソフトの REPLACER 設定、スマートフォン用アプリの ENIGMA 設定画面でアイドリング調整部分は表示されません。